

■こたえ

一 1 ① 色

② 大きさ

二 1 やぶれにくい (から。)

三 1 ゆき 2 いえ 3 よ (む) 4 とり 5 ある (く)

四 1 左 2 水 3 雨 4 花 5 白 (く)

■考え方

一 1 【大石さんの 文しよう】には、りんごとなしの「ちがうところ」として、色が書かれています。また、「同じところ」として、大きさと食べ方が書かれています。【大石さんの ひょう】の中に書かれている内ように合わせて書きます。

二 1 ふろしきをくりかえしつかうことができる理由について書かれた文をさがしながら読み、きめられた文字の数で書きぬきます。

とりくんでみよう！

■ 次の 線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 オトがきこえる。

3 クサがはえる。

2 ハヤシの中。

4 ソラを見る。

答え

音 ヲ 草 空 林 乙 景 ↓

■正答

一 1 イ

2 もうどう犬にふさわしい心がまえ(十五字)

二 1 みおく(る) 2 さかなや 3 そうだん 4 ととの(える) 5 はっそう

三 1 鳴(る) 2 毎朝 3 近(い) 4 親切 5 公園

■考え方

一 1 本文中の [] の前の文と後の文の意味が、ぎゃくになっているので、「しかし」をえらびます。

2 この問題は、「もうどう犬が訓練で身につけること」について、中心となる語や文に着目して内容を整理するものです。「こうした訓練は、約三か月から半年かかります。」より前にある、それぞれの段落の中心となる文章に注目して、読むことが大切です。

取り組んでみよう!

左のローマ字と、右の読み方を、正しい組み合わせとなるように、点を線でつなぎましょう。

kokugo	•	• コップ
koucha	•	• 国語
koppu	•	• こう茶

答え

国語	•	• koppu
コップ	•	• koucha
•	•	• kokugo

■ 正答

一 1 ① 「長時間同じしせいですわっていても、つかれが少なくてすみませう。」

② 次の動作

二 1 た(てる) 2 はんけい 3 きぼう 4 せいかん 5 じてん

三 1 問題集 2 整理 3 感想文 4 配(る) 5 急(ぐ)

■ 考え方

一 1 ① この文章は、「和室と洋室、それぞれの部屋ですごし方の良さ」について書かれてるので、その中から洋室の良さについて書かれている部分を見付けて引用します。

引用する時は、元の文や言葉を書きかえないように注意し、引用部分はかぎ「」でくります。
② 「つまり」からは後は、前の部分をまとめているので、二つ目に引用している「いすにすわっているじょうたいから、次の動作にうつるのがかん単であることも、いすの良さです」の中心となる言葉をさがして書きぬきます。

取り組んでみよう！

次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましよう。

1 水のオンド。

[]

3 ボールをコロがす。

[]

2 ハナヂが出る。

[]

4 冬のサムさ。

[]

答え

(ニ) 華 々

(キ) 陣 区

草 草

草 草

↓

■正答

一 1 ⑧、⑨ (順不同、完全解答)

2 (例1)

(クラスの)人気者だ

という所は、

(クラスの)人気者です

に直した方がいい

と思うよ。

※ 「クラスの」を書いてても正答とします。

(例2)

だ

という所は、

です

に直した方がいい

と思うよ。

二 1 かんしゃ

2 きそく

3 はんたん

4 も(える)

5 じゅんび

三 1 希望

2 包帯

3 印刷

4 照(らす)

5 塩

■考え方

一 1 自分の経験や考えを書いたメモから、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考え、整理して書くことが大切です。

2 本作文の文末は「です。」「ます。」などのていねいな言い方で終わっています。ですから、「人気者だ。」ではなく、「人気者です。」が正しい表現です。

取り組んでみよう！

■ 次の —— 線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 いつもワラう。

[]

3 肉をやく。

[]

2 本をエラぶ。

[]

4 話をツタえる。

[]

答え

(らぶ)

伝

4

(く)

焼

3

(ぶ)

選

2

(う)

笑

1

二学期サポート問題（第五回） 国語 小六【児童用】

■正答

- 一 1 ②
- 2 わたし自身 ぐ くなった。
- 二 1 そんなけい 2 とうろん 3 ふっきん 4 げきつう
- 5 おぎな（う）
- 三 1 成績 2 消毒 3 貿易 4 管理
- 5 設（ける）

■考え方

- 一 1 投書は書き手の考えが述べられている文章です。この投書は、はじめと終わりに書き手の考えが述べられている構成ですので、この部分に着目して情報をとらえましょう。文章や資料等から情報を的確にとらえるためには、全体の構成に着目し、文章や資料全体の書き方の特ちょうをふまえた上で、読み手にとって必要な情報を見付けることが大切です。
- 2 書き手が、読み手を説得するために、理由を付けたたり、根きよを挙げたりしている部分に着目します。問題で取り上げた「自分の実際の経験」は投書①で「わたし自身くくなった。」と述べています。なお、投書②は「見たり聞いたりしたこと」を述べているので、二つの投書の書き方の違いに着目することも大切です。

取り組んでみよう！

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 別れをツげる。 [] []
- 2 ジョウシキがある。 [] []
- 3 セキニンが重い。 [] []
- 4 説明をハブく。 [] []

答え

- (く) 別
- ヤ
- 珍事
- 忌
- 懸
- 乙
- (せ) 世
- 事
- ↓